

落雪、吹き溜まりに注意！



119 消防署より

下川消防署 ☎・☆4-2119

例年に比べて降雪が少ない傾向にありますが、万が一落雪などによりFF式ストーブなどの給排気筒が埋まっていると、不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒などの重大な事故になります。雪が少ないから大丈夫だと油断せず定期的に給排気筒が埋まっているか確認しましょう。その際に、灯油タンクやガスの配管の破損なども併せて確認するようにしましょう。

FF式ストーブの給排気



屋根の雪下ろしは必ず命綱を！

平成30年11月から平成31年3月までの除雪機や落雪、屋根の雪下ろしなどによる事故件数は全道102件で、死者11人、負傷者87人、負傷なし4人となっています。雪下ろし前に気を付けることで事故は防げるので、次のことに注意してから作業しましょう。

その雪下ろしは本当に必要ですか？

雪下ろしは死亡事故の多い危険な作業です。雪下ろしするのは雪による「危険」を取り除くためだけに限定し、安易な気持ちで雪下ろしを行ってはいけません。一般的な住宅では、雪荷重による変化(屋根や部材の変形、襖や戸が開かなくなる)が生じていない場合は、雪下ろしを行う必要はありません。

雪下ろしに適した天気ですか？

気温が高い日(0℃以上)や日射の強い日は、屋根の雪の底面が融け、滑りやすくなります。なるべく気温が低い時に作業を行いましょう。風が強い日、吹雪の日はバランスを崩したり、足を踏み外したりする危険性が高いので作業は行わないようにしましょう。



手伝ってくれる人はいますか？

はしごを支えたり、万が一の時助けてくれる人はいますか。一人では作業を行わず、家族や隣近所の方にサポートを頼みましょう。やむを得ず一人で行う場合は、作業前に誰かに連絡して、安否を確認してもらるようにしましょう。

作業の段取りは万全ですか？

安全用の装備は用意しましたか？雪を落とす場所に壊れるモノが置かれていたり、人が入ってくる恐れはありませんか？作業を安全に行う自信が無い人は、迷わずに専門業者へ頼みましょう。



令和2年の状況(1月末現在)

火災件数 0件
救急出動回数 20件